

## 夜空を焦がし、元気な歌声響かせ 勝平鳥追い



▲子供たちの元気な歌声が響きました

2月3日、勝平自治会（加藤勲一会長）による伝統行事「鳥追い」が行われました。

会場の勝平農村公園に地域住民、琴丘小4年生25人などあわせて約100人が参加。子どもたちが中心になって公園中央にたかれた巨大なかがり火を回りながら、拍子木をたいて元気に鳥追い唄を歌いました。

この後、参加者全員で鳥追い唄を歌いながら集落内を練り歩き、公園に戻ると、子供たちによる雪中田植えが行われ、五穀豊穰・無病息災を祈願しました。

## 天までとどけ

### 久米岡凧上げ大会



▲凧、たこ、上がれ！

2月4日、久米岡凧上げ大会が、久米岡活性化委員会（児玉直久会長）の主催により開催されました。昭和40年代に始まり今年で43回目となる地域の恒例行事で、同会の凧上げ部会が中心となつて、約3週間ほどかけて骨組みとなる竹の切り出しから全て手作りした凧15枚ほどが用意されました。

当日は、能代凧保存会のメンバー約20人も参加。地域の子どもたちも加わって、大空に優雅に凧をなびかせていました。

## 石倉山に子供達の歓声響く

### 三種で遊び隊

2月4日、旧石倉山スキー場でイベント「石倉山スノーパーク」が開催されました。

三種で遊び隊（佐々木政幸隊長）が、町に遊びの場を創出しようと、町の新・元気づくり支援事業を活用して石倉山スキー場を復活させたもので、2年目となる今年は春から雑木の伐採や、ロッジの片付けなどの作業を行いました。

当日は、町スキー連盟と合同でスキー教室を行い、町内外から集まった親子約30人がスキーやスノーモービルを体験。三種の冬を満喫しました。



▲うまく滑れたよ！

## ゆうばる

### 入館者300万人達成

2月5日、ゆうばるの入館者数が300万人を達成しました。300万人目の入館者となったのは杉山愛子さん（牡丹）です。

愛子さんは、夫の直政さんと一緒に訪れ、思いがけない幸運に驚きながら、くす玉を割って施設の節目を祝福しました。

20年近く毎日夫婦で通っているそう、ゆうばるの湯が健康の秘訣と語ってくれました。

お二人には三浦町長から「寒さ厳しい日が続いていますが、温泉で心も体も温まって欲しい。これからもご利用をお願いします。」と記念品が贈呈されました。



▲左から、直政さんと愛子さん。おめでとうございます！